

# 図書だより 第10号

秋田県立十和田高等学校図書館

令和3年3月19日

今月のイチオシ

今年度、最後の図書だよりです！！



『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン著/久山葉子訳/新潮新書

スティーブ・ジョブズを筆頭に IT 業界のトップは我が子にデジタルデバイスを与えないという。なぜか？・・・答えは本の中に。教育大国スウェーデンを震撼させた最新研究による世界的ベストセラー！スマホが悪いというのではなく、脳の進化と生活様式にはズレがある等、脳に関する興味深いことが書かれています。3/13（土）放送の世界一受けたい授業でも紹介されていました。

～今月の新着図書から～

『日本製』 三浦春馬/ワニブックス	三浦春馬が約4年かけて訪れた47都道府県の旅。写真入りで47の made in Japan が紹介されています。秋田県はあの酒造会社が掲載されています。
『推し、燃ゆ』 宇佐見りん/河出書房新社	第164回芥川賞受賞作で本屋大賞にもノミネート。推しが炎上した。ままならない人生を引きずり祈るように推しを推す・・・著者は現役の大学生。
『オルタネート』 加藤シゲアキ/新潮社	吉川英治文学賞受賞！！著者は NEWS の加藤シゲアキ。高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代。恋とは、友情とは、家族とは、そして人と繋がるとは・・・
『目でみることば』 おかべたかし/東京書籍	目でみるシリーズ。灯台下暗しの灯台は海にあるあの灯台ではなかった・・・初めて知った・・・という「目から鱗」が結構あります。
『葉桜と魔笛』 太宰 治/立東舎	乙女の本棚シリーズ。父親と姉妹が主な登場人物。3人それぞれの心情が伝わって来る短編。「姉」が語り手ですが、主人公は「妹」だと思います。

ガラス書架\*\*\*今月のテーマは県内高等学校の学校司書12名が選ぶ

『今、キミに読んでほしい本2021』海外文学編 手作りPOPつき





### ★図書館に行こう③藤島知歩先生

私が読書やゲームを好きなのは、自分が知らない世界を味わえるからです。想像を巡らせ、ここではないどこかを感じる。所謂現実逃避いわゆるです。また、評論文でも小説でも、作品を読めば自分が積極的に関わらない（関われない）であろう人の考えに触れられます。

多くの出会いは人生を豊かにします。人の考えを自分の考えに生かせるからです。また、自分の趣味嗜好の気づきにもなります。狭い人間関係の中では自分の考えや好みも狭く、偏り、凝り固まったものになりがちです。確かにインターネットでどこでも誰とでも繋がれる時代です。しかし、本は時代も、言語も、世界さえも飛び越えて多くの「人」と出会うことができます。しかも人見知りでも大丈夫。これ大事。

多くの人と出会い、そこで触れる言葉が成長の糧となります。皆さんをより魅力あるひとにするアイテムが図書館にはたくさんありますよ。図書館で多くの出会いを経験し、自分の人生をより豊かなものにしませんか。

\* 藤島先生はさまざまなジャンルの本をたくさん読んで、たくさん見ます。私が貸してもらった本で印象深かったのは猫の写真集でした。ただの猫の写真集ではありません。ちょっとここでは書けませんが・・・気になった人は是非、直接、藤島先生に尋ねてみてください。

### ★今月のガラス書架の本について



県内の学校司書全員で毎年お題を決めて、高校生に読んでほしい本を、自作のPOPつきでおすすめています。選書もPOPも個性が出ていて楽しいので是非、ガラス書架を見てみてください。勿論、貸出もしています。春休みの読書にどうですか？

\* 写真は一部です。全部で13冊12枚のPOPを展示しています。お気に入りの1冊、お気に入りの1枚を見つけてください。

### ★図書館からのお知らせ★

\* 春休み中の開館時間・・・8：30～15：00

\* 貸出冊数・・・1人5冊まで

\* 3月の学校司書不在の日・・・25（木）午後

29（月）～31（水）

